

豊かで 住みよい 町づくり



議会だより

2015. 8. 1 発行

# 上勝

## 6月 定例会

- 2P 条例改正  
26年度補正予算
- 3P 27年補正度予算
- 4P 主な質疑
- 5P 一般質問  
7名が町政について質問
- 12P 視察研修報告
- 14P まちのようす



## 平成27年度 一般会計補正予算 (補正第1号)

質疑の結果  
全員異議なく可決

追加 **8,758万9千円**

総額 **30億3,358万9千円**

主な内訳	
● 工事請負費（災害復旧費） 公共土木施設	<b>5,155万円</b>
● 消防備品 戸別受信機 備蓄用毛布	<b>648万円</b>
● 臨時福祉給付金	<b>420万円</b>
● いっきゅう簡水特別会計繰出金	<b>260万円</b>
● 道路台帳整備委託業務	<b>212万1千円</b>
● 移住推進のためのPR動画	<b>155万6千円</b>
● 農産物加工施設（みそくり機）	<b>60万円</b>

## 専決第1号 税条例等の一部改正

## 専決第2号 平成26年度 一般会計補正予算 (補正第8号)

補正額 **580万円** 総額 **31億3,956万6千円**

## 専決第3号 国民健康保険税条例の一部改正

質疑の結果 **すべて可決**

## 第3回 定例会

開 会 期  
会 会 日  
平 成 9 日  
成 27 年 平 成  
年 6 月 27 年  
6 月 6 月  
19 日 11 日  
日 日

## 平成27年度 特別会計補正予算

質疑の結果  
全員異議なく可決

### 国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算 (補正第1号)

追加額 **354万4千円** 総額 **2億9,855万1千円**

### 介護保険特別会計補正予算 (補正第1号)

追加額 **635万3千円** 総額 **3億6,635万3千円**

### 後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (補正第1号)

追加額 **85万8千円** 総額 **4,332万2千円**

### 東地区簡易水道事業特別会計補正予算 (補正第1号)

追加額 **60万円** 総額 **3,506万6千円**

### いっきゅう地区簡易水道事業特別会計補正予算 (補正第1号)

追加額 **260万円** 総額 **1,610万円**

## 人権擁護委員の 任命に同意しま した

(敬称略)



桂 洋 志

●任期 平成27年7月1日より  
平成31年6月30日まで

【提出先】  
内閣総理大臣 財務大臣  
法務大臣

第56条は自家労賃を必要経費として認めていない。事業主の所得から控除される働き分は配偶者が86万円、家族は50万円しかなく、これが所得とみなされるため、社会的にも経済的にも自立できない。第56条は、憲法、女性差別撤廃条例、男女共同参画社会基本法に違反している。

### 要旨

業者婦人の働きを認めない差別的税制、所得税法第56条の廃止を求める意見書  
発議者 明本議員

### 発議 1号

全員異議なく可決

## 教育委員の任命 に同意しました

(敬称略)



下 岡 卓 司

●任期 平成27年7月1日より  
平成31年6月30日まで

### 理由

議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、出産の場合の欠席の届け出について新たに規定するものである。

発議者 渡部議員

議事会議規則第2条に次の1項を加える  
2、議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができる。

### 発議 2号

全員異議なく可決

### 主な質疑

**上勝町火災予防条例の一部を改正する条例**

**武市議員** 夏祭、秋祭等で縁日があるが、申請などの詳細は。

**横山総務課長**

入出が10万人を超える場合もしくは露店等が100店舗以上の場合には規制があるが、小規模の催しでも火器、ガス等を使用の場合は町に届出が必要である。

### 町道路線の認定

**岩本議員** 中瀬津下線も同時に申請されている。早期に検討され認定をお願いする。

**松下議員** 延長1,110mとのことだが、舗装済の割合はどうか。

**中原建設課長** 全延長できている。

**武市議員** 認定において最低の幅員勾配傾斜その他規格はどうか。

**中原建設課長** 三級町道の場合、幅員は2m以上、勾配等については規定はない。

### 27年度一般会計補正予算

**鹿島議員** 企画費業務委託料プロモーション動画とは。

**多田企画環境課長**

秋冬春の3シーズン全国移住ナビ、ホームページに掲載する。

**渡部議員** 受入れの体制は出来ているのか。世話できる体制がなければ無駄になる。

**多田企画環境課長**

企画環境課内に移住交流センターを設置、兼務であるが1名配属してある。

**明本議員** 戸別受信機とは。

**横山総務課長**

現在各戸に配布しているものと同型である。予備機として100台購入する。防災無線ユーザー受信機の事である。



戸別受信器

### 株かみかついっきゅうの経営状態

**渡部議員** 経営が改善する事なく赤字が増えている。

**花本町長** 一番にお客さんの減少、入浴者の激減が理由である。集客の手だてを考えていく必要がある。彩山も1つの方法である。

**明本議員** チップ燃料が調子が悪いのに、27年度も同じ計画である。

**花本町長** 現在は改善され順調に作動している。

### 株バイオの経営状況

**明本議員** 黒カビ問題の説明と不良ホダの処分方法は。

**花本町長** 検品方法を見直している。9月には結果が出る。ほとんどは流川の造成地で耕うんして処理した。

**鹿島議員** カネボウ・森菌2人の研究者がいる。相反しないか。

**花本町長** 両者ともシイタケを作るプロである。両方の長所を合せ上勝方式でやっていく。

**渡部議員** 人員不足になっているとの事であるが、もともと人員が多過ぎるのが問題であると聞いていたが。

**花本町長** 画像選別機も導入されていない。休日も一部出勤している。毎日残業もしている。

### 株もくさんの経営状況

**鹿島議員** 社団法人化の話はどうなった。

**花本町長** いろんな模索をして結論を出す時が来る。

### 株いろどりの経営状況

**武市議員** 営業収益に講演料が84万円入っている。経営形態として、これだけののいか。

**花本町長** これも営業の1つである。後継者育成と合せて違う収入を得る事を模索すべきである。

**松下議員** いろどり新規参入者に優良な土地を町が配慮すれば拡大していくのではないか。

**花本町長** 売買希望者には届出をもらっている。紹介はできるので、個人の財産ではあるが情報を集めるのは続けていく。



彩山候補地

## 明本

# 町民に優しく 着実な町政を



明本 恵一 議員

### 上勝バイオの累積赤字は

**問** 上勝バイオあらたな累積赤字(2億5,000万円)どうするか。

**答 花本町長**

技術を抜本的に見なおし、13年間で解消する。

**問** しいたけ画像処理装置(町費2,500万円)の工程および効果は。

**答 花本町長**

8月に稼働。年1,000万円の節減。

**問** 議会は今後、増減資させない議決をした。

**答 花本町長** 真摯に受け止めている。

### テレビ・インターネット機器取替

**問** 1億3,000万円もかけ、ポン方式に変える必要はない。前と同じ100メガだ。

**答 花本町長**

修理部品が入手困難となる。

**問** ネットしない人は、今までに10万円の損をさせられた。

**答 花本町長**

損をしているとは思わない。

### 彩山について

**問** 場所は正木地区と傍示地区の2カ所に。

**答 花本町長**

仕事創生のため月ヶ谷温泉周辺から開始したい。



JA上勝支所北側町道

## JA上勝支所の 中の町道は

**問** 町は当事者意識をもち官民境界設定を。

**答 中原建設課長**

くい打ちが終わった。境界設定はされる。

**問** 線路名と幅員は。

**答 中原建設課長**

中津線(3級)起点から1.1m、スタンド前から4mの町道だ。

**問** 町道を白線表示し、段差をなくし、川側への転落防止の手すりを。

**答 花本町長**

現場をよく確認させる。

### 高鉾公民館エレベーターは

**問** 簡易エレベーターいつ設置されるのか。

**答 立川教育長**

7月中旬に発注、3月かかる。

### マイナンバー(個人番号制)について

**問** 年番号が漏出。詐欺まで起こった。町民に何のメリットもない。町長の裁量権で取りやめよ。

**答 花本町長**

他町村と歩調を合わせたい。



鹿島 國男 議員

鹿島

産業課長

茶の苗木にも補助を

今後の状況により検討

問 香酸柑橘と彩の苗木には補助制度があるが茶の苗木にはないので、茶の苗木にも補助を設けてほしい。

答 吉積産業課長 先日のテレビ放送により、問い合わせが殺到している阿波晩茶だが、茶の苗について農協の担当者に問い合わせたところ、注文もなく、取り扱っていないとのことであった。苗木の業者に問い合わせたところ、やぶきた苗木の50cmのもので40円から50円とのことであった。今後の状況により検討したい。

問 高校へ通学している人に定期代を補助できないか。

答 花本町長 上勝町内から高校へは、横瀬西までは無料で、横瀬西から小松島までは定期の学割で月1万6,770円、3ヶ月定期だと、もう少し安くなる。

阿南、徳島市内、鳴門となると学生寮などは1ヶ月2万7,600円。下宿だと1ヶ月3万2,000円。親が送っている人もいるので、今のところ定期代の補助は考えていない。



小学校の授業風景

椎茸菌床の雑菌処理は

問 上勝バイオの菌床はうまくいっているのか。

答 花本町長 現在のところ雑菌については、基準値を下回っている。結果については、9月ごろになる。

答 吉積産業課長 それぞれの会社や組織が所有している設備や技術が異なっているのかでうまくいっているからといって、即座にそれを取り入れることはできない。

問 町内で菌床シイタケを栽培している人で、上勝バイオと同じ森菌を使っている人がいるが、その人は菌床に雑菌は出ないといっている。教えてもらっては。

今は、上勝方式でテストを繰り返しているところである。いけるとなると全体に切りかえたい。



彩り山で雇用創出 いろいろ農家の現状は 武市

彩り主体農家の 平均売上は500万円 環境課長 企課

問 彩り山構想は、産業優先で雇用の創出とこの点だが、いろいろ農家の現状は。

答 多田企画環境課長 26年度のいろいろり部会会員は189人で総販売額2億1,200万円、1農家平均112万円の売上です。

3割位が経費である。彩で生計を立てている農家は30戸位、販売額500万円、作付面積は50アール程度、これ位の経営規模が妥当な収支ラインと推測。

問 彩り山、維持管理策はどうしていくのか。

26年度のいろいろり部会会員は189人で総販売額2億1,200万円、1農家平均112万円の売上です。

問 月ヶ谷温泉周辺の地権者に立ち入り調査協力を願ひ、ビジネスプランを検討していく中で、運営主体についても地元集落再生プラン事業や温泉村観光協会等活動団体、周辺の企業と維持管理について協議していく。

問 彩り山構想、地域分散型では創生版には向かないとのことであったが、その後変化は。

答 花本町長 新たな移住者や交流就労人口の増加が地方創生事業。町内住民が地域に新たに新規就労の場を設けるといような計画では、地方創生事業の対象にはならないという事である。

Uターン施策について

問 飯泉県知事は地方創生プランに、団塊世代の里帰り戦略を掲げている。いろいろりは年金世代が支

えてきた産業であり、これに着目し、上勝町も長い目線で、子、孫につながるUターン施策に重点を置いた定住対策を考えてはどうか。

答 花本町長 高齢者の地方移住は介護の負担が地方に転嫁される懸念の声がある。注目されやすい移住者向けの補助制度、転入補助金については若い人向けに限っている。年金世代については町人材育成事業で苗木購入補助等の支援ができる。

最近話題となった 阿波晩茶、振興策は

答 花本町長 今までは晩茶苗木の購入と言った要望が農協に問い合わせもなかった状況である。面積拡大等に意欲的な考え、要望が出てくれば検討していくことは当然のことである。

問 上勝バイオの菌床はうまくいっているのか。

答 花本町長 現在のところ雑菌については、基準値を下回っている。結果については、9月ごろになる。

問 町内で菌床シイタケを栽培している人で、上勝バイオと同じ森菌を使っている人がいるが、その人は菌床に雑菌は出ないといっている。教えてもらっては。

今は、上勝方式でテストを繰り返しているところである。いけるとなると全体に切りかえたい。

問 省力化対策に補助金は。

答 吉積産業課長 機械導入には3戸以上の共同事業での県単補助事業がある。

答 花本町長 上勝町人材育成事業に地域活性化研究事業があり、研究開発、実証実験モデル的取り組みに年100万円を限度とした補助がある。具体的事案があれば提示いただきたい。

問 具体化してきた空き家対策特別措置法、どう取り組む。

答 中原建設課長 この法律の執行には順序を踏んでいく必要があり、現段階で上勝町の空き家対策にこの特別措置法を適用するのは難しい。

問 荒廃した空き家除去も腰を上げて対処する必要があると思う。一定額の補助金での促進策を考えては。

答 花本町長 その物件が、倒壊した場合に2分の1以上県道や町道を塞ぐといった恐れがある場合には、限度額を100万円として、それ以内である場合は2割負担の補助制度はあるが、個人所有財産の管理責任はあくまで個人であり、一定の負担は持っていたくのが筋であると思っっている。

その他、町道大平中央線改良、葛又地区西浦橋の改善と上流堤防の危険予防策、崩壊の恐れのある河川の災害予防策等を質問。



自然に委ねる廃屋



武市 功 議員



岩本文昭 議員

岩本

教育長

# 教育委員会の制度は どう変わる 現教育長の任期中は 猶予されている

## 町制60周年記念 関係

**問** 式典の詳細は検討中もしくは交渉中とあるが

**答** 花本町長

50周年の時とあまり変わらない。記念講演、ふるさと納税者等の功労者の方々の表彰交流会等を検討している。

**答** 横山総務課長

講師は鈴木俊博氏に依頼している、記念冊子も作成中である。

**問** 記念講演の講師を鈴木氏に決めた理由はなにか。50周年との違いはなにか。

**答** 横山総務課長

50周年に比べれば今回がシンプルになる。鈴木氏に依頼した理由は地方創生関係で講師を探していたが、上勝の事を熟知され前向きな提案を持っておられ上勝のための提案を期待できるからである。

**問** 功労者とはどのような方が対象か、何名程度になるのか。

**答** 横山総務課長

各課に問い合わせ中であり全部は出てきていないが、現状では町内の功労者は2名である。

## 教育問題

**問** 教育委員長の制度が廃止されるとの事であるが現状はどうか。

**答** 立川教育長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され本年4月より実施されている。新制度に移

行しては現教育長の任期中は猶予され、28年10月以降に町長が新教育長を任命する事になっている。

**問** 新制度に移行後、不都合が生じる事はないのか。

**答** 立川教育長

まだ行っていないので問題は分からない。総合教育会議ができ今までの委員会より町長の参加もあり、幅広い町の行政に直結した意見が聞けるのではと考えている。

**問** 中学生が他校でのクラブ活動は可能か。

**答** 立川教育長

色々制約があり現状では不可能である。上勝中学校の生徒は現存の部活動で活動していただきたい。

## 1Q運動会の現状

**問** 1Q運動会も長期間続けられてきたが、今の現状はどのような活動内容なのか。

**答** 多田企画環境課長

八重地地区は柵田の視察、貸し農園の県外視察、旭地区、門松づくり、柵田の音楽祭、市字地区、集落景観美化運動、体験研修、視察、野尻地区は町道周辺の美化活動、桜の苗木植樹、榎原地区、花壇の整理。川西地区は環境美化及び地区全体の一斉清掃。傍示地区、文化の交流、空き家再生の視察。正木地区、県道沿いの景観整備、夏祭りバザー参加等である。集落再生プロジェクトの方が活発化しているが、地道

## 町道の環境整備

**問** 戸数の少ない集落では高齢化もあり、陰切等の環境整備が難しくなっている。行政からの支援はできないか。

**答** 花本町長

車道が16路線、182キロある、その内15路線は修理工夫が対応している。これを全て町が賄うのは難しい。出来るだけ地元でお願したい。



集落を覆う杉の大木 (府殿)

# 有償ごみ分別 研修制度を

渡部

## 分別冊子を配布予定

企画環境課長

**問** ゼロ・ウェイストは上勝のブランドとなっているが、ゴミステーションにごみを持ってこない家庭はどれくらいあるのか。

**答** 多田企画環境課長

平成25年の3ヶ月間実施調査した結果では、約5%、764のうち30戸ほどと推定される。

**問** ごみの野焼きは。

**答** 多田企画環境課長

平成26年度までは2年に1度ほど野焼きの情報を受けたが、それ以降はない。

指導としては、2年に1度ほど広報紙に野焼き防止の啓発文を掲載している。

**答** 多田企画環境課長

ボランティアでの参加は歓迎するが、日当は出せない。

現在ゼロ・ウェイスト推進員3名が情報収集のため家庭訪問をしている。今年度末には、ごみの分別冊子が完成する予定。分別のルールをわかりやすく説明してゆきたい。

## 学童保育の 充実を

充実を

可能なことは

やってゆきたい

**問** 自然とふれあうがキヤッチコピーで、温泉キヤンプ場は観光客のため

**答** 峯下住民課長

駐車場は運動会などイベントの時に必要だ。調理室が必要な時は高鉾公民館を利用している。

**問** 2年に1回の運動会の駐車場と常に遊べる場所とどっちが重要なのか。

高鉾公民館の調理台は子供には高すぎる。冷蔵庫もない。

**答** 峯下住民課長

公民館については住民課からは答えられない。外で遊ぶことについては、学校で遊んでから学童施設に来ることで対応できるのではないかと考えている。

## 役場入口の 灰皿撤去を

来客のために必要

**問** 玄関でたばこを吸われると迷惑なので灰皿を撤去してほしい。

**答** 横山総務課長

来客用の灰皿はあそこだけになっている。1カ所は必要。

**問** 来客に喫煙を勧めているのか。

しかも入口から室内へ煙が入って二次喫煙をさせられている。

**答** 横山総務課長

分煙室を作るとコストがかかる。現状のままが一番安くていい。

その他、学童保育補助員の給与、上勝パイオの今後、百間滝歩道の整備について質問した。



渡部厚子 議員



松下和照 議員

松下

町長

# 地方創生彩山構想の具現化は

## 交流・移住促進・産業等計画の提出が急務

**問** 地方創生5ヶ年計画の構想を具体的に伺う。

**答** 花本町長

本年9月までに地域の特色を出した活性化、ひと・まち・しごとに関して計画を立て提出すること。現状では、予算も2000万円程度でまだ未確定の状態。川北の10ha程は今年度の調査費600万円、山の木の切り出し、植採等々。温泉側については地籍調査後、計画を進めたい。

**問** いろいろ山は観光による美しい風景を目指すのか、産業化を実際に考えているのか伺う。

**答** 花本町長  
ビジネス両方を目指したい。また研修の場、山林労働者の育成等、多岐に渡る。

**問** 雇用創出はどのくらい考えているのか。

**答** 花本町長

いろいろビジネスで5人、農業従事者で5人程。現在、調査委託によるプランニング中である。

**問** 植採の変更、管理用道路等により地滑りや部分崩壊等、環境安全を考慮した地質調査、試錐

(ボーリング) 調査は実施するの。

**答** 花本町長

地元地権者からも一部危惧される声も聞きしている。専門家の意見も聞いて必要となれば実施する。

**問** 八重地・市宇・檜原間、県道を補完する迂回路の進捗は

**問** 机上調査の進捗は。

**答** 中原建設課長

建設課で机上により林道網の整備計画案を作成

6月末を目途に委託業務により発注作業を進めた

**問** 机上調査後、県並ひに上勝町による林道認定と重要な住民の生活道としての予算確保の可能性は。

**答** 森副町長

林道網整備計画の成果が上がってきた段階で具体的に検討を行ってまいりたい。予算確保については継続事業が3路線有り難しい状況だが、今後県当局にも事業の重要性を十分説明し要望してまいりたい。

**問** マイナンバー法について

**答** 横山総務課長  
データ保存は上勝庁内に置いて一般的に上勝町から直接データが流出することはないと考えている。上勝町では情報セキュリティ個人情報保護、情報発信モラル、個人番号制度の基本研修を全職員に対して、番号制度を中心的に携わる部署には特別な研修を今年12月末までに終える事になっている。

**問** 公選法の改正に関して

**問** 選挙権年齢の引き下げによる上勝町の対象者は何人か。参画の呼びかけの工夫はどうする。

**答** 横山総務課長

今年5月末現在18歳が9名、19歳が13名で、来



放棄地に植栽された桜の幼木 (生実)

# どう防ぐ森林荒廃 林業プロジェクトで対応

町長

藤田

**問** 人口が減り、原野・原木に対して葛等が木を覆ってきている状況に在ると思うが、どう後継者に引き継いでいくのか。

**答** 花本町長

県では平成17年林業再生プロジェクト、19年から林業飛躍プロジェクト、23年から次世代林業プロジェクト、27年から新次元林業プロジェクトで、36年度末の県産材の生産量・消費量を29万立方

ら60万立方と倍増計画を立てている。積極的に利用していただきたい。広報等で周知をしたいと思う。

森林組合等で高性能林業機械の導入や境界の明確化等を行っている。

**問** 県道や町道へかぶる木の枝を町道管理者により処理を行っていたのだが、1年すれば復活する。地元の人に理解を求めつつ許可願いを町ができないか。

**答** 中原建設課長

木を切るのも非常に手間がかかり、民地に生えている場合が多い。所有者の承諾を得るなり了解を得た上で、地元で対応できない状況であれば申し出ていただき、現場を見るなり対応していけば思っている。

# テレビ報道で農業にチャンスが

**問** テレビ報道で晩茶の値打ちが上がり、注文が殺到していると生産者から話を聞く機会があった。テレビで葉ワサビの栽培状況を見る機会があり、同業者13人が頑張っておられ、農業のチャンスも今とと思うが。

**答** 吉積産業課長

4月から産業課に移動して、これから勉強していきたいと思っている。高齢化に伴って担い手が人材不足。上勝町の取り組みとして、青年就農給付金を活用しながら新規就農者を支援している。



東部広域農道 (傍示地区)

**問** 東部広域農道は

県道徳島・上那賀線が土砂災害で通行止になると、住民や来町者が足止めされ困る。東部広域農道の前進に期待する。

**答** 花本町長

残事業として1の1工区、609m。1の2工区、27m。1の3工区、177mが残っている。町としても問題を抱えている所もあるが、町道と連結しているの、町も積極的に支援を進めていきたい。



藤田欣宏 議員

# 金沢大学 自律型自動運転自動車の開発状況

石川県金沢市

平成27年6月24日

6月24日午後1時30分から2時間、菅沼直樹准教授の説明を受けた。そして実際に自動運転車に体験乗車させてもらい構内を走行した。車種はプリウス。時々刻々変化する周辺道路事情を感知し、危険を判断し、GPSと周辺環境認識センサーにより安全走行できるまでになっている。そして登録されているデジタル地図により目的地に無事到達する知能システムである。

「こう言ってしまうれば簡単だが、人工頭脳が車間距離の変化率や障害物、交差点信号、横断者や飛び出し者など全てを瞬時に判断しなければならぬ。大変高度なセンサーとコンピュータからなっている。乗せてもらった車1台で4,000万円かかったぞうだ。しかし、実用化は近いと先生は自信を持って語った。私は、上勝町では90歳近くまで運転しなければならぬ



4,000万円の試作車

ので、部分的にでも、自動の車庫入れ・居眠り自動停止・交差点の安全通過・追従車が多くなったときの処置・不法に割り込まれた時など、部分的運転支援システムを「早く市場に供給して欲しい」ものであると要望した。(明本)

# 輪島市 世界農業遺産 白米千枚田

石川県輪島市

平成27年6月25日

日本で初めて世界農業遺産に認定された千枚田は、輪島市より日本海側を10分くらい北上したところで、海岸線より階段状に高低差59mの中に広がっている。開墾当初は約8,000枚近くあったが、現在は高齢化、また、後継者がいなくなり、1,004枚になっている。小さい田は、4株、6株といった面積のものもあった。ここでは手作業による昔ながらの伝統的な農法が今なお行われており、日本農業の聖地として、その継承に取り組んでいる。



日本海を見下ろす千枚田

現在は、地主で耕作しているのは1軒で、残りはオーナー制度(会費2万円、年間8回のイベント参加と米10kgに季節の山菜が貰える)と特別会員、保存会員等で作業を実施している。収穫量は、約6,000kg。品種は、ノトヒカリ、コシヒカリの2種類を栽培している。収穫した米は、白米にして小袋販売とおにぎり(1個180円)にして売店で販売している。単価は高値で販売していたが、よく売れているようであった。取り合い道路の国道も2車線化され、圃場が一望できる場所には、駐車場・

トイレ・展望台・売店もあり、平日であったが大型バスも数台来ていて賑わっていた。また、10月より3月までの間、自然エネルギーイルミネーションイベント「あぜのきらめき」を実施している。イルミネーションには、ペットボトルに太陽光発電とLEDを組み

合わせたものを使用している。

新幹線の開業とNHKの朝ドラ「まれ」の影響で非常に観光客が多くなっているが、昔からの伝統ある輪島漆また、朝市と夏・秋祭りに担ぎ出される巨大な御神灯、キリコなど知名度はあったが、それに加え、千枚田も利用した観光に取り組み、地域住民等で、年間を通じていろんなイベントを企画して、観光客にアピールして呼び込んでいる。

本町においても、今ある資源を活用し知恵を出し合い、考え協力し合い実施できれば、観光客も呼び込むことが出来るのではないかと人の出入があれば、地域は活気が出て来る。地域が元気になれば、働く場所も出来、後継者問題も解決できるのではないかと。(片山)

# コナン・ツーリズム視察研修

滋賀県湖南市

平成27年6月26日

湖南市は、東海道51番目の宿場町として、江戸・伊勢へと向かう多くの旅人で賑わった町である。現在は、高速道路を利用した、県下有数の工業団地が立地している。また、国道1号線とJR草津線等の交通基盤により、京阪神への通学通勤が便利になり、ベッドタウンとして住宅開発が進んでいる。平成9年に住民による市民協同太陽光発電所を稼働させた。補助金を貰わず市民からの出資で立ち上げている。2号機も市民からの出資で設置している。いずれも福祉施設の屋根に設置した。その後、民間会社の屋根を利用した発電所を稼働しているが、資金は住民・会社等からの出資でまかなっている。

地域に存在する自然エネルギーは地域固有の資源を、地域に根差した主体が、地域の発展に資するように活用して、地域経済の循環に貢献できるように活用していくという基本的考えのもと、地産地消、地域にあるものは地域で消費する基本理念のもと、自然エネルギー基本条例を制定した。今後は公共施設の屋根に設置を計画



福祉施設屋上のソーラーパネル

しているが、資金は住民からの出資を予定している。電力販売で得た資金は、経費を差し引き、出資者に地域商品券で配当している。地域商品券にすることで、地域の活性化を図る目的もある。しかし、商品券での配当ばかりだと、出資を募る時厳しい情勢となってきたので、今後は何割かは現金での配当も考えているようだ。地域に在る物で、地域住民と共に考え事業を進めていく。本町においても地域住民と共同する点など見習うべき事は沢山あった。(藤田)

## 議会の動き

### 4月

- 6日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 14日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 14日 第3セクター調査研究特別委員会
- 14日 勝名地区町村議会議長会臨時総会 (上勝町)
- 20日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)
- 24日 議会広報調査特別委員会 (議会だより編集)

### 5月

- 26~27日 平成27年度町村議会議長・副議長研修会(東京)

### 6月

- 3日 議会運営委員会
- 8日 議会全員協議会
- 9日 議会全員協議会 (第3セクター決算)
- 11日 第3回定例議会 第1日 (開会)
- 18日 第3回定例議会 第2日
- 19日 第3回定例議会 第3日 (閉会)
- 24~26日 議会視察研修 (石川県金沢市、輪島市、滋賀県湖南市)
- 30日 徳島県町村議会議長会臨時総会及び定例会 (徳島市)

# まちのようす



新しく認定された町道 府殿下線



福川地区の一斉草刈



ビール工房



町道沿いのアジサイ（櫻原入口）



あけぼのつつじ（高丸山）



月ヶ谷温泉観光協会による草刈

## 編集後記

7月14～15日にかけて監査研修で土佐町石原地区へ行つた。181世帯366人、少子高齢化の町。JAの跡地に、日用品や野菜の販売所。600ℓ入りの移動式ガソリンスタンドがあった。（採算に合わないが、無いと困る）今後人件費の捻出が課題とのこと。上勝も人口が減り、JAが撤退し同じようなことが……。ふる里を愛し、この町で生きていくと決めたなら、共に知恵を出し合い毎日楽しく過したい。8月8日は夏祭り。（鹿島）